



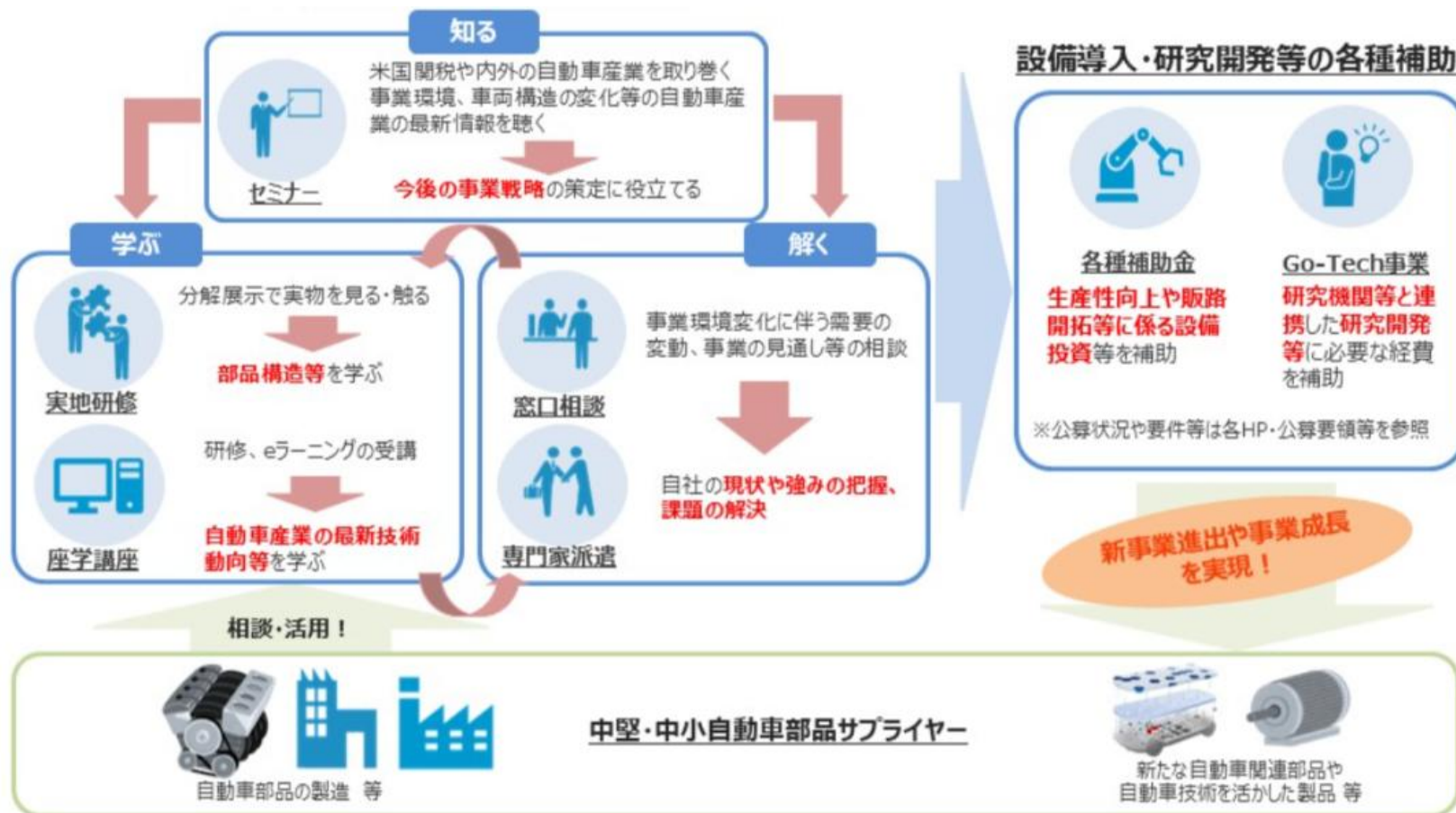
長野県産業振興機構  
NICE

# 自動車部品サプライヤー 事業転換支援事業

## 企画連携部

## ■ 概要

関税措置や規制動向等の自動車産業を取り巻く事業環境、事業構造や車両構造の変化等による国内産業・経済への影響を踏まえ、**中堅・中小の自動車部品サプライヤーに対して新事業進出や事業成長等に向けた支援を実施**する事業。



注) 経済産業省資料から抜粋

## ■ 支援内容

総務企画本部 企画連携部にプロジェクトマネージャーと事業転換支援アドバイザー(非常勤)を配置し、次の支援を実施

| 支援      | 内容                                                                                          |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 相談支援    | プロジェクトマネージャーと事業転換支援アドバイザーが<br>✓ 企業訪問又はオンラインミーティング、電話などによる個別相談<br>✓ 従来の自動車部品からの事業転換や新たに参入を支援 |
| 専門家派遣   | 各分野の専門家を派遣<br>✓ 専門性の高い相談内容については、国の専門家派遣事務局と協議して専門家を派遣<br>✓ 個別課題に合わせた支援と解決                   |
| セミナー開催  | 「次世代モビリティ関連技術講座」の開催<br>✓ 次世代モビリティに関する最新動向等の情報を提供<br>✓ 令和8年度は3回程度の開催                         |
| 実地研修会開催 | EV分解展示実地研修会の開催<br>✓ EVに実際に構成されている部品を見て参入可能性を検討                                              |

## ■ 第1回 次世代モビリティ関連技術講座

経済産業省「CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）」

Next-Generation Automotive Solutions

**CASE**

Connected Autonomous Shared & Service Electrification

**SDV**  
Software Defined Vehicle

**第1回次世代モビリティ関連技術講座  
開催のご案内**

長野県産業振興機構では、令和7年度「第1回次世代モビリティ関連技術講座」として、株式会社三幸コーポレーション 次世代自動車戦略研究所®の飛田氏より、「電動化の動向と主要部品の解説」と題してご講演いただくとともに、実際の電動車部品（日産のSAKURA・LEAF）を展示しながら、実地で解説いただきます。

今後の技術戦略やEVへの参入を検討されている企業の皆様は、是非ご参加ください。

令和7年（2025年）

**7月30日（水） 13:00-16:00（開場12:30）**

会場

テクノプラザおかや（大研修室兼展示場）  
【ハイブリット開催：会場／オンライン配信】

※会場では、EV分解部品（日産SAKURA・LEAF）を展示します。



講演

**13:05～14:35 「電動化の動向と主要部品の解説」**

**14:45～15:45 電動車部品解説（実地研修）**

～日産SAKURA・LEAFの主要部品展示解説～



講師 株式会社三幸コーポレーション  
次世代自動車戦略研究所®  
技監 飛田 宏 氏

<講師の略歴>  
1961年4月 トヨタ自動車工業株式会社入社  
数々の新車開発に携わる  
2003年1月 株式会社三幸コーポレーションへ入社  
行政機関・企業等からの依頼により、  
最新の次世代自動車の講義・分解部品解説を実施

**15:45～16:00**

名刺交換会（飲食は伴いません）

【会場参加の方で希望者のみ】

〈終了後〉 **16:00～16:30 意見交換会**（会場：テクノプラザおかや 2階 商談室）  
講師等と交え、CASE対応に向けた問題意識の共有や課題解決に向けた意見交換（自由形式）を行います。

参加費

無料

定員

40名（会場参加）

対象

長野県内に事業所等を有する中堅・中小企業、産業支援機関など

主催：公益財団法人長野県産業振興機構

共催：長野県

後援：岡谷市



## ■ 第2回 次世代モビリティ関連技術講座

経済産業省「CASE対応に向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業（地域支援拠点運営事業）」

Next-Generation Automotive Solutions

**CASE**

Connected Autonomous Shared & Service Electrification

**SDV**  
Software Defined Vehicle

**第2回次世代モビリティ関連技術講座  
開催のご案内**

長野県産業振興機構では、CASE対応に伴う新たなサプライチェーンに県内企業が参入していくために必要となる技術や設計生産システムなどの知識を習得するための講座を開催します。

令和7年度の第2回として、ブルースカイテクノロジー株式会社 代表取締役社長 矢島 和男 氏より、「電動化がもたらした自動車技術の変革と技術提案のためのポイント」と題してご講演いただきます。

今後の技術戦略やEVへの参入を検討されている企業の皆様、「令和7年度EV分解展示実地研修会」（10月29日開催）への参加を予定されている皆様は、是非ご参加ください。

令和7年（2025年）

**10月15日（水） 13:30-16:00（開場13:00）**

会場

テクノプラザおかや（大研修室兼展示場） 岡谷市本町1-1-1  
【ハイブリット開催：会場／オンライン配信】

※会場では、EV分解部品（BYD ATTO3のモーター）を展示します。

講演

**13:35～15:35**

「電動化がもたらした自動車技術の変革と技術提案のためのポイント」

講師 ブルースカイテクノロジー株式会社  
代表取締役社長 矢島 和男 氏



<講師の略歴>  
1990年 日産自動車入社  
2009年 LEAFの電池開発を担当  
2018年 同社退社後、ブルースカイテクノロジー設立

**15:35～16:00 参加者交流会**（飲食は伴いません）

講演終了後、講師や参加者間の自由交流会（名刺交換等）を行います。

参加費

無料

定員

40名（会場参加）  
制限なし（オンライン参加）

対象

長野県内に事業所等を有する中堅・中小企業、産業支援機関など

主催：公益財団法人長野県産業振興機構

後援：岡谷市



# 自動車部品サプライヤー事業転換支援事業

## 第3回 次世代モビリティ関連技術講座



長野県産業振興機構では、令和7年度「第3回次世代モビリティ関連技術講座」として、株式会社日経BP 附属 様より、Zeekr 007 (Geely) の分解を通じた最新EVにおける技術的な動向解説等について、ご講演いただくとともに、一般社団法人日本自動車部品工業会 附属 様より、自動車産業における競争力強化（取引適正化、品質適正化やカーボンニュートラルなど）に向けた部品工業会の取組みについて、ご講演いただきます。今後の技術戦略や競争力強化をご検討されている企業の皆様は、是非ご参加ください。

令和8年（2026年）1月30日（金）13:30-16:00（開場13:00）

**会場** EV解体展示場（住友不動産 御成門駅前ビル1F）  
東京都港区新橋6丁目17-21  
【ハイブリット開催：会場／オンライン配信（請求[おひき]）】  
※会場には、中国吉利汽車(Geely)の Zeekr 007 車体解体展示場があります。

**講演①** 13:35～14:50  
「Zeekr 007 (Geely) の分解を通じた最新EVにおける技術的な動向解説等」  
講師 株式会社日経BP 総合研究所 上席研究員 狩集 浩志 様

**講演②** 14:50～15:20  
「自動車産業の競争力強化に向けた部品工業会の取組み」  
講師 一般社団法人日本自動車部品工業会  
理事・事務局長 兼 事務部長 尾関 明人 様  
<【休憩】15:20～15:25>

**解説** 15:25～15:50 解体展示 (Zeekr 007) の見学及び解説  
解体展示品の見学及び講師（日経BP 上席研究員 狩集 浩志 様）による解説  
(※参加費のみの) 15:50～16:00 参加者交流会（飲食は伴いません）  
講師や参加者間の自由交流会（名刺交換等）

**参加費** 無料 **定員** 40名(会場参加)、制限なし(オンライン参加)

**対象** 長野県内に事業所等を有する中堅・中小企業、産業支援機関など

主催：公益財団法人長野県産業振興機構 後援：岡谷市



## EV分解展示実地研修会



### 令和7年度 EV分解展示実地研修会 開催のご案内

長野県産業振興機構では、県内企業が電動化の進展やCASEの動向などについて理解を深め、EV関連部品の生産へ事業をシフトするにあたり、EVにどのような部品が使われているのか、使われている部品の改善提案の余地があるのかなどについて、実際に構成されている部品を見て検討するため、EVの分解展示場を視察する実地研修会を開催いたします。今後の技術戦略やEVへの参入を検討されている企業の皆様は、是非ご参加ください。

2025年 10月29日（水） 午前の部 9:30 - 12:00  
午後の部 13:00 - 15:30

（午前と午後の内容は同じです。どちらかご都合の良い時間帯を選択ください。）

**会場** 三洋貿易(株) 瑞浪展示場（岐阜県瑞浪市釜戸町3361-3）  
※現地集合、現地解散

**定員** 80名（40名x2回）  
※定員に達し次第、募集受付を終了します。なお、定員を超過した場合は、キャンセル待ちを受け付けます。  
※1企業3名まで（但し、応募多数の場合は、調整させていただきます場合があります）

**参加費** 無料  
※現地までの旅費交通費は各自負担となります。

**展示車両** 分解車(25台)：Tesla Model Y, BYD Yuan Plus, Nissan Ariya, 他  
[2025年追加：Xiaomi SU7, Zeekr 007, Tesla Model 3+, AION Y Plus, 他]  
完成車(7台)：BYD Seal, 他 [2025年追加：广汽本田b23X, Model Y 2024, 他]

| スケジュール | 午前の部        | 午後の部        | 内容                                                        |
|--------|-------------|-------------|-----------------------------------------------------------|
|        | 9:15-9:30   | 12:45-13:00 | 受付                                                        |
|        | 9:30-9:45   | 13:00-13:15 | 主催者挨拶、三洋貿易(株)の方から展示場の概要説明等                                |
|        | 9:45-10:30  | 13:15-14:00 | 展示会場の見学：説明員による主要部品解説と質疑応答                                 |
|        | 10:30-12:00 | 14:00-15:30 | 展示会場の見学：自由見学<br>※会場内には三洋貿易(株)の専任スタッフがおりますので、お気軽にお声かけください。 |

主催：公益財団法人長野県産業振興機構 後援：岡谷市



## ■ ご相談・お問合せ先【受付時間 8：30～17：15】

公益財団法人長野県産業振興機構

総務企画本部 企画連携部 担当：依田、小林(満)

〒380-0928 長野県長野市若里1-18-1 長野県工業技術総合センター3階

TEL: 026-227-5803 E-mail: renkei@nice-o.or.jp

上記のご相談・お問合せ先まで、訪問等をご依頼ください！

# 長野県プロフェッショナル人材戦略拠点事業 (デジタル人材活用推進)

## 企画連携部

## ▶ プロフェッショナル人材戦略拠点では…

県内事業者の成長を後押しするため、専門人材（プロフェッショナル人材）と県内事業者とのマッチングを支援することにより、事業者の経営革新と地域経済の活性化及び当県への人材還流を促し、地方創生の核となる「ひと」と「しごと」の創出の実現を目指しています。



注：長野県プロフェッショナル人材戦略拠点HPより抜粋

<https://www.nagano-pro.com/index.php>

## ▶ 長野県産業振興機構は・・・

長野県プロフェッショナル人材戦略拠点から、  
県内企業のデジタル活用及びデジタル人材活用を促進するため、ニーズの掘り起こしや人材確保に向けた支援業務を受託



注:長野県プロフェッショナル人材戦略拠点HPより抜粋

<https://www.nagano-pro.com/index.php>

## ■ 支援内容

各地域センターに、デジタル担当マネージャーを配置し、デジタル人材の活用を促進するために、次の支援を実施

| 支援             | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 相談支援           | <p>デジタル担当マネージャーが企業訪問を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 企業が抱える課題や悩みを聞き取りながら解決に向けて整理</li> <li>✓ (デジタル)プロ人材の活用などをご提案</li> <li>✓ 国や県などの補助金等の支援制度をご案内 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロ人材就業補助金</li> <li>・ UIターン就業・創業移住支援金</li> <li>・ 県外副業・兼業プロフェッショナル人材移動費補助金</li> </ul> </li> </ul> |
| 求人情報をエージェントへ取次 | <p>課題解決のための人材ニーズ具体化後、「企業情報シート」を企業に記載、提出いただき、登録エージェントへ取り次ぎを行います。</p> <p>※拠点の利用については、訪問・相談全て無料ですが、有料ビジネス事業者に対する成約時の成功報酬については別途発生します。</p>                                                                                                                                                                     |

## ■ ご相談・お問合せ先

| 地域センター | TEL                  | E-mail                      |
|--------|----------------------|-----------------------------|
| 長野センター | 026-225-6650         | nice-nagano@nice-o.or.jp    |
| 上田センター | 0268-23-6788         | nice-ueda@nice-o.or.jp      |
| 松本センター | 0263-40-1780         | nice-matsumoto@nice-o.or.jp |
| 諏訪センター | 0266-53-6000(内線2664) | nice-suwa@nice-o.or.jp      |
| 伊那センター | 0265-76-5668         | nice-ina@nice-o.or.jp       |

# イノベーション創出事業

---

企画連携部

## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
4. 支援対象の選定と支援の期間
5. 各支援の詳細
6. 申請方法

## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
4. 支援対象の選定と支援の期間
5. 各支援の詳細
6. 申請方法

## 当機構が有する「経営」「開発」「販路」に係る支援機能を総動員 県内企業が取り組む「イノベーション」を、企画から試作、実証、販路拡大まで 一貫支援する事業

### 新規事業の開発・事業化における課題

- 多岐事項の検討が必要であるとともに、不足部分の克服が必要！
- また、取組が途中で頓挫しないよう、計画性、意欲の持続等の工夫も必要！

連携企業の皆さんに協力いただき  
新規事業を何とか事業化したい！  
しかし、対応事項は多い！！

協業

協業

協業

会社

#### 【外部環境】

- ・外部環境調査能力
- ・顧客層/ニーズ
- ・競合の状況
- ・成長市場か否か
- ・政治経済動向等の影響等

#### 【内部環境】

- ・技術/ノウハウ/知財
- ・商品等の魅力度
- ・自己資金/資金調達
- ・仕入先/販路
- ・人的資源
- ・協力者/支援者
- ・経営ノウハウ等

### 本事業による支援

- 主に次の支援により、開発・事業化におけるあらゆる課題の解決をサポートします！

➤ あらゆるフェーズで利用できる補助金の交付

➤ 民間企業在席経験あるマネージャー、コーディネータが有する知見・ノウハウによる支援

➤ 実績あるコーディネータ、職員による国等の大型補助金獲得支援

➤ 機構内の支援施策の活用支援（他の補助金、専門家派遣等）

➤ 試験分析、知財、AI/IoT事業開発、テストマーケティング等の専門支援機関への橋渡し

➤ 担当者が随時進捗をお聞きし、取組が頓挫しないよう伴走支援

## 目次

1. 制度概要
- 2. 支援対象者及び対象事業**
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
4. 支援対象の選定と支援の期間
5. 各支援の詳細
6. 申請方法

## ▶ 支援対象者

少なくとも1社以上の異業種(主たる事業が産業大分類又は産業中分類で異なることをいう。)の企業等との連携により、支援対象事業を実施しようとする県内中小企業

## ▶ 支援対象事業

次のいずれかに合致する取組(次スライド参照)

### ▶ 支援対象事業

| 類型                                                                                  | 支援対象事業                                                                                                   |
|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>プロダクト・イノベーション<br/>(新しい生産物の創出)</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>従来とは大きく異なる新商品（新製品・新サービス）の開発・事業化</li> </ul>                        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>プロセス・イノベーション<br/>(新しい生産方法の導入)</li> </ul>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>生産工程や流通工程を大きく改善することにより、商品の価値を大きく高めるもの</li> </ul>                  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>マーケット・イノベーション<br/>(新しい販売先・消費者の開拓)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>既存商品の改良、新規商品の開発等により新たな市場に参入し、新たな顧客やニーズを開拓するもの</li> </ul>          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン・イノベーション<br/>(新しい供給源の獲得)</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>商品をつくるための材料や、その原材料の供給ルートを新規開拓・確保することにより、商品の価値を大きく高めるもの</li> </ul> |

## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
- 3. 支援対象フェーズ及び支援内容**
4. 支援対象の選定と支援の期間
5. 各支援の詳細
6. 申請方法

- ▶ 各プロジェクトへの支援は、全てのフェーズを対象
- ▶ 試作～実証～販路開拓まで、プロジェクトの戦略・計画策定を含めて伴走支援します

### 【企業の取組のフェーズと機構の支援内容(例)】

|         |      | 構想企画、研究                                                                                                                                                                                                             | 開発                                                                        | テストマーケティング、<br>商品化                                                                                                                                                                                  | 販売・生産拡大                                                                      |
|---------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|
| 企業の取組内容 |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>原理検証</li> <li>(技術の)用途探索</li> <li>事業化戦略策定</li> </ul>                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>特定用途向けの技術・製品開発</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>市場の反応の徴取</li> <li>改良開発</li> <li>生産体制構築</li> </ul>                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>複数顧客へアプローチ</li> <li>生産体制強化</li> </ul> |
| 支援内容    | 資金   | <ul style="list-style-type: none"> <li>原理検証経費支援</li> <li>諸活動費補助</li> </ul>                                                                                                                                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>用途開発費支援</li> <li>諸活動費補助</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>営業ツール費用補助</li> <li>展示会出展費用補助</li> <li>改良開発費用補助</li> <li>諸活動費補助</li> </ul>                                                                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会出展費用補助</li> <li>諸活動費補助</li> </ul>  |
|         | ノウハウ | <ul style="list-style-type: none"> <li>用途探索結果の提供、事業化戦略策定支援</li> <li>国等の提案公募型資金獲得支援（主に開発用途）</li> <li>デザインレビュー、リスクマネジメント等専門家派遣支援</li> <li>不足技術等の保有者（大学等研究機関、企業）の探索及び連携支援</li> <li>知財支援（先行特許調査支援、商標・特許出願支援）</li> </ul> |                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>テストマーケティング支援施策活用支援（中小機構等）</li> <li>商社との連携支援</li> <li>国等の提案公募型資金獲得支援（主に営業ツール作成や生産設備導入用途）</li> <li>不足ノウハウ等の保有者（Webサイト構築、製品デザイン、営業支援、製品評価等）の探索及び連携支援</li> </ul> |                                                                              |
|         |      | <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトにおける上記の各種取組についての進捗確認及び支援</li> </ul>                                                                                                                                    |                                                                           |                                                                                                                                                                                                     |                                                                              |

### 【各プロジェクトへの支援の詳細】

| 区分            | 施策名称                       | フェーズ毎の支援内容（例）                                                            |                                                                    |
|---------------|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
|               |                            | 企画構想、研究、開発                                                               | テストマーケティング・商品化、販売・生産拡大                                             |
| 本プロジェクト専用の補助金 | ① イノベーション創出支援補助金           | <ul style="list-style-type: none"> <li>原理検証、用途開発、活動等費用</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>営業ツール、改良開発、活動等費用</li> </ul> |
| 機構内外他施策の導入支援  | 成長産業支援補助金                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>用途開発費用（航空、医療、環境分野のみ）</li> </ul>   | —                                                                  |
|               | 中小企業・小規模事業者販路開拓助成金         | —                                                                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>展示会出展費用補助</li> </ul>        |
|               | 有望プロジェクト事業化促進事業（専門機関による支援） | <ul style="list-style-type: none"> <li>用途探索結果の提供、事業化戦略策定支援</li> </ul>    | —                                                                  |
|               | 専門家派遣事業                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>デザインレビュー、リスクマネジメント等の実施</li> </ul> | —                                                                  |

### 【各プロジェクトへの支援の詳細】

| 区分               | 施策名称                  | フェーズ毎の支援内容(例)             |                        |
|------------------|-----------------------|---------------------------|------------------------|
|                  |                       | 企画構想、研究、開発                | テストマーケティング・商品化、販売・生産拡大 |
| 機構内外他施策の導入支援（続き） | ハンズオン支援事業（テストマーケティング） | —                         | ・ テストマーケティング支援施策の活用支援  |
|                  | 知財総合支援窓口              | ・ 知財支援（先行特許調査、商標・特許出願等支援） | —                      |

### 【各プロジェクトへの支援の詳細】

| 区分                        | 施策名称                      | フェーズ毎の支援内容(例)                                                                    |                                                                                                                      |
|---------------------------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                           |                           | 企画構想、研究、開発                                                                       | テストマーケティング・商品化、販売・生産拡大                                                                                               |
| 機構職員・コーディネータの知見・ノウハウによる支援 | ②-1 本事業プロジェクトマネージャー等による支援 | <ul style="list-style-type: none"> <li>不足技術等の保有者（大学等研究機関、企業）の探索及び連携支援</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>商社との連携支援</li> <li>不足ノウハウ等の保有者（Webサイト構築、製品デザイン、営業支援、製品評価等）の探索及び連携支援</li> </ul> |
|                           |                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトにおける各種取組の進捗確認及び支援（伴走支援）</li> </ul>  |                                                                                                                      |
|                           | ②-2 機構コーディネータ、職員による支援     | <ul style="list-style-type: none"> <li>国等の提案公募型資金獲得支援（主に開発用途）</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>国等の提案公募型資金獲得支援（主に営業ツール作成や生産設備導入用途）</li> </ul>                                 |

## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
- 4. 支援対象の選定と支援期間**
5. 各支援の詳細
6. 申請方法

- ▶ 機構内外の委員により構成される委員会において、支援対象を認定
- ▶ 支援の期間は3年以内(支援の必要性に応じ、審査の上、最大2年間の延長が可能)  
補助金による支援は最大3回(3年度分)まで

### ○支援対象の認定

有識者により構成されるプロジェクト認定委員会で次の項目を審査。書面及び面談により支援対象を認定

- ① 本事業趣旨への合致度:本県の外貨獲得産業の創出・強化に寄与するか、地域経済への波及効果が高いか、複数の支援機関による支援が必然的に求められるか
- ② 取組意欲:経営層が重要視し十分な関与が得られるか、支援機関の助言を柔軟に受け入れる意思があるか 等
- ③ 実現可能性:プロジェクトの実現を阻害しうる諸要因を検討しており、かつその回避策を検討しているか 等

### ○支援の期間

- 3年以内(審査の上最大2年間の延長が可能)
- 認定先への補助金交付回数は最大3回(3年度分)まで

## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
4. 支援対象の選定と支援期間
- 5. 各支援の詳細**
6. 申請方法

## イノベーション創出支援補助金

補助金交付対象者・・・前述で認定されたプロジェクト(企業)

※交付額は毎年度審査の上、申請額及び予算を鑑みて決定

補助金交付額・・・上限200万円（特に必要な場合は400万円）

補助率・・・補助対象経費の2分の1以内

補助対象経費

人件費、設備備品費、原材料・消耗品費、委託費、広告宣伝費、知的財産  
関連経費 等

### プロジェクトマネージャー等による支援（当機構）

プロジェクトマネージャー氏名：西澤 正一（企画連携部所属）

#### 【支援内容】

支援対象となった取組に対し、**諸活動の進捗サポート（伴走支援）**を行います。  
必要に応じ、機構内外人材によるプロジェクトチームを組成し支援します。

### 機構コーディネーター、職員による支援（当機構）

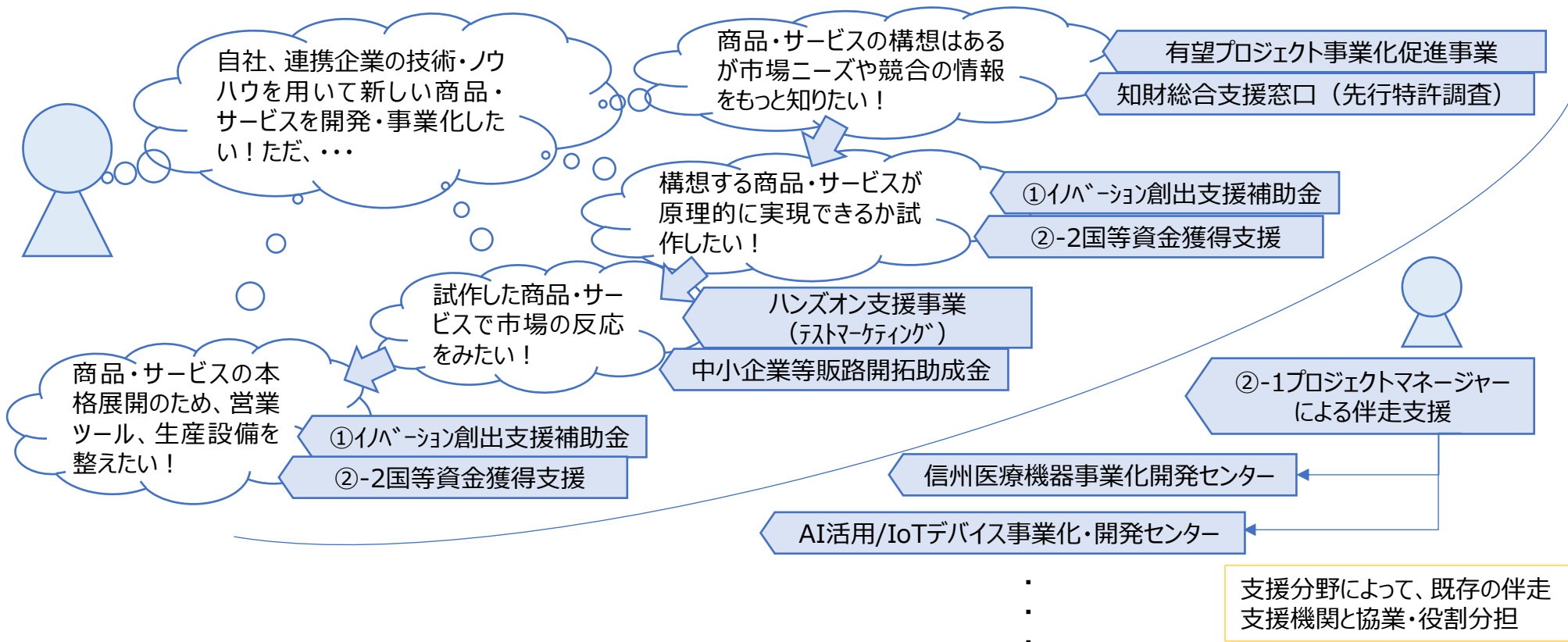
#### 【支援内容】

支援対象となった取組に対し、活動に必要な国等の提案公募型資金の獲得支援を行います。

対応部署：当機構各地域センター、企画連携部ほか  
（主にGo-Tech事業(旧:サポイン事業)や、ものづくり補助金等）

# (参考) 本施策の活用イメージ

- プロジェクトの進捗段階に応じて必要な支援を行います。
- プロジェクトの事業化に向けて、こうした多岐にわたる検討が必要な皆様のご活用をお待ちしております。



## 目次

1. 制度概要
2. 支援対象者及び支援対象事業
3. 支援対象フェーズ及び支援内容
4. 支援対象の選定と支援期間
5. 各支援の詳細
- 6. 申請方法**

▶ 支援申請書(要領様式第1号)に加え、概ね以下の内容が記載された事業計画書(指定様式)をご提出いただきます。

- ① 基本情報(企業概要(名称、所在地、資本金、従業者数等)、連携企業一覧)
- ② プロジェクトに係る内部環境(強み、弱み)、外部環境(機会、脅威)の整理
- ③ ②を踏まえプロジェクトにより実現を目指す姿(定性目標及び定量目標)
- ④ ③の実現に必要なと想定するアクションとその実施時期、必要資金想定額
- ⑤ ④のアクションのうち審査基準に照らして必要な事項の検討状況

▶ 申請前の上記事業計画の策定に係るご相談から対応させていただきます。  
当機構各地域センター又は企画連携部へお気軽にお問い合わせください。

# 事例紹介

株式会社共進 様

- 株式会社共進様へのご支援についてご紹介します。



【同社外観】

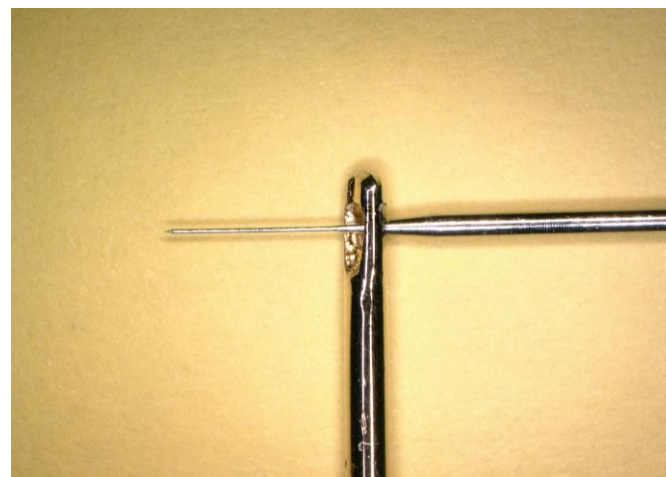
- 企業名 株式会社共進
- 事業内容 自動車部品、医療機器部品の  
金属加工販売
- 代表者 五味 武嗣 氏
- 所在地 諏訪市中洲4650
- 従業員数 130名
- URL <https://www.kyoshin-h.com>

## 【これまでの支援内容】

- ① 針を細く加工する機械的方法、化学的方法、電気的方法などの提案や、これらの加工が得意な企業の紹介
- ② 試作費用や材料費用等の開発実験に、イノベーション創出支援補助金を活用
- ③ 開発開始から約1年半で、極細針の製作には成功し、その後は先端形状の成型に着手
- ④ 医療分野では、複数の大学と連携し、現在は試作品を用いたフィールドテストを実施



【同社製品】



【極細針試作品】

## ◆ 支援内容の例

| 企業の課題                                                                               | 支援内容                                                                     | 当機構が出来ること                                                                                                                       |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>設備投資等をしたい</li> <li>そのための補助金を活用したい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>当該補助金に詳しい機構内外の専門家と連携する</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>本制度では、その様な支援も支援内容に加えています。</li> <li>専門家との連携を強化しています。</li> </ul>                           |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>顧客候補へアプローチするにはどうしたらよいのか？</li> </ul>          | <p>○ 以下の費用を補助<br/>商品サンプルを実際に見てもらう。<br/>良さを直接伝える</p>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>本事業で費用を補助します。</li> <li>良さを伝える訓練や機会が得られる施策と連携します。(ハンズオン支援事業(旧:販路開拓コーディネート事業等))</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>広く周知するにはどうしたら良いか？</li> </ul>                 | <p>○ 人的な支援で以下を実施<br/>SEO対策されたHPとする。<br/>メディア掲載してもらう</p>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>SEOに詳しい専門家との連携を支援します。</li> <li>取材の機会の創出をお手伝いします。</li> </ul>                              |

## 【本事業に係るお問い合わせ先】

| 部署     | 所在地・連絡先                                                                                                 |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 企画連携部  | 〒380-0928<br>長野市若里一丁目18番1号 長野県工業技術総合センター3階<br>電話 026-227-5803<br>電子メール renkei@nice-o.or.jp              |
| 長野センター | 〒380-0928<br>長野市若里一丁目18番1号 長野県工業技術総合センター3階<br>電話 026-225-6650<br>電子メール nice-nagano@nice-o.or.jp         |
| 上田センター | 〒386-8555<br>上田市材木町1-2-6 長野県上田合同庁舎内<br>電話 0268-23-6788<br>電子メール nice-ueda@nice-o.or.jp                  |
| 松本センター | 〒390-0852<br>松本市島立1020 長野県松本合同庁舎内<br>電話 0263-40-1780<br>電子メール nice-matsumoto@nice-o.or.jp               |
| 諏訪センター | 〒392-8601<br>諏訪市上川1-1644-10 長野県諏訪合同庁舎内<br>電話 0266-53-6000（内線2663, 2664）<br>電子メール nice-suwa@nice-o.or.jp |
| 伊那センター | 〒396-0041<br>伊那市西箕輪2415-6 伊那技術形成センター内<br>電話 0265-76-5668<br>電子メール nice-ina@nice-o.or.jp                 |